科目名	現代社会と経済Ｂ　　Modern Society Economics B						
科目担当者	緒方 哲　　OGATA Satoshi						
単位数	2	**配当年次**	1年	**授業形態**	講義	**開講学期**	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　人間形成］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　人間形成］					**ディプロマポリシーとの関連**	(3)(4)

授業の概要	地域や国の経済は、当該地域や国に居住する人々の生活や拠点を置く企業等の活動の積み上げから成り立っており、地域や国の経済を理解するためには、社会形態の一つである人々の日常生活や企業の日常活動を理解することが大切です。 「現代社会と経済Ｂ」では、「みやざき」という地域の稼ぐ力を強くする方向性について、宮崎県職員として培った経験や知識、ものの見方・考え方を踏まえて、具体的な企業等の取組を数多く紹介しながら考えていきます。あわせて、感染症や自然災害などが及ぼす地域経済・社会等への影響と対応策を考えます。
授業の到達目標	①人々の生活や企業の行動が経済構造のどこに位置するのか考える習慣づけができていること ②県民所得の向上という目標に対してどのような行動をとれば良いか説明できること ③私たちが属する地域社会の何が課題となっているのかを自ら探り、解決策を提案できるようになること

授業計画・内容		
	1	ガイダンス、稼ぐ力を強くする 10 のポイント
	2	稼ぐ力を強くする方向性について（外貨を稼ぐ－売り込みの意義）
	3	稼ぐ力を強くする方向性について（外貨を稼ぐ－売込みの事例）
	4	稼ぐ力を強くする方向性について（外貨を稼ぐ－呼び込みの意義）
	5	稼ぐ力を強くする方向性について（外貨を稼ぐ－呼び込みの事例）
	6	稼ぐ力を強くする方向性について（置き換えの意義）
	7	稼ぐ力を強くする方向性について（置き換えの事例）
	8	稼ぐ力を強くする方向性について（強みを伸ばす～農林水産業の現状と課題、その振興）
	9	稼ぐ力を強くする方向性について（弱みを克服する）
	10	稼ぐ力を強くする方向性について（連携により可能性を広げる）
	11	稼ぐ力を強くする方向性について（県外から所得を稼ぐ、労働分配率を高める）
	12	稼ぐ力を強くする方向性について（県外への資金流出を抑え県外からの資金流入を図る、資産の有効活用）
	13	稼ぐ力を強くする方向性について（地域ブランドを高める）
	14	稼ぐ力を強くする方向性について（感染症や自然災害と地域経済）
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	予め講義資料の概要等を配布し、小テストやレポートを課する。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	講義に使用した資料等を踏まえ、小テストやレポートを課する。（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 授業外学修（事前学修） 授業外学修（事後学修）	60% 20% 20%	①、②、③ ①、②、③ ①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	サクサクと読み解く地域経済の勘どころ（緒方哲：鉱脈社）
参考文献	・「みやざき」は可能性に満ちている（緒方哲：鉱脈社） ・外貨を稼ぎ循環をおこす（緒方哲：鉱脈社） ・日本には二つの国がある（大村昌弘：紀伊国屋書店）
その他	